

公 示

大阪府立大学長

下記の通り、博士論文発表会を行います。

記

1. 論文発表会名 生命環境科学研究科獣医学専攻博士論文発表会
2. 主催者 大阪府立大学
3. 開催日 平成30年1月31日(水)及び2月1日(木)
4. 開催場所 りんくう学舎第1講義室
5. 発表会に関するお問い合わせ先：
生命環境科学研究科獣医学専攻 笹井和美(内線：りんくう 3107)
6. 発表者名及び発表論文題目

以上

	論文発表会	時間	発表者名	発表論文題目
1	1月31日	13:00-13:50	中西 等	猫歯肉口内炎の病態解析と治療に関する研究
2	1月31日	13:55-14:45	岡崎 誠治	pH感受性リボソームを応用した腫瘍ワクチンの開発
3	1月31日	14:50-15:40	PERVIN MUNMUN	Pathological study on liver homeostasis and hepatotoxicity based on macrophage functions and autophagy in rats (マクロファージ機能とオートファジーに基づいたラットの肝恒常性と肝毒性に関する病理学的研究)
4	1月31日	15:45-16:35	天野 渉	A study of mechanism of action of the JAK inhibitor JTE-052 on Atopic Dermatitis (JAK阻害薬JTE-052のアトピー性皮膚炎に対する作用メカニズムに関する研究)
5	2月1日	13:00-13:50	NAHAR AZIMUN	Prevalence and characterization of extended-spectrum beta-lactamase-producing <i>Escherichia coli</i> and <i>mcr-1</i> gene-positive <i>E. coli</i> in domestic and imported chickens in Japan (基質特異性拡張型βラクタマーゼ産生性大腸菌とコリスチン耐性遺伝子陽性大腸菌の国産と輸入鶏肉における汚染状況と分離株の性状解析)
6	2月1日	13:55-14:45	安田 憲朋	II型細胞膨化致死毒素遺伝子保有大腸菌の菌種再同定から見出した <i>Escherichia albertii</i> の検出法の開発と応用
7	2月1日	14:50-15:40	牛草 貴博	結核菌遺伝子導入による腫瘍免疫治療の研究
8	2月1日	15:45-16:35	市川 あおい	抗真菌剤ケトコナゾールのラット胎盤に及ぼす影響に関する研究

以上